

風雪に耐えて六十年

やがて消えゆく県庁舎



〔現庁舎の正面玄関〕

県政の中心として、また代表的な古典ゴシック建築として親しまれてきた県庁舎が近く県民の前から姿を消します。

▽現庁舎と新庁舎△記録によりますといまの庁舎は明治三十四年六月に着工、三十六年十一月に完成し、総工費が一一九、二八二円五〇銭となっております。いまでこそ十万円といってもわずかな金額ですが明治三十五、六年といえば米一升が七・八銭といわれていたから、当時としてはかなりの巨費を投じたものだったでしょう。建築当時は約七〇〇坪（約二、二一〇平方尺）でしたが、いまでは増築を重ね附属施設を含めて約二、九〇〇坪（約九、六〇〇平方尺）となっております。いろいろ県政の中心となって六十年のあいだ文字どおり風雪に耐え、県民とともに歩んできたものです。しかし建物ぜんたいの老朽がはなはだしく、しかも行政事務の増加によってひじょうに狭くなり、部局の一部が市内の十数カ所にも分散しているありさまです。このため、県政の運営上にさしつかえがあり、県民の皆さまにもたいへんご不便をおかけしています。このような事情から公共の利便と公務の能率向上をはかるために、新しく建てかえることになったわけです。解体された庁舎の用材は、市町村や学校あるいは観光会社などで使われることになっていますが、近い将来にはそれぞれ姿をかえて、再び県民の前にお目見えすることでしょう。

新しい庁舎は、いまの庁舎をとりこわし下さい現在の位置に建てられることになっていますが、鉄骨鉄筋コンクリート造り、地下一階地上十二階塔屋付き、建て坪一一、三〇〇坪（約三七、〇〇〇平方尺）で、完成はおむね三十九年の秋頃と予定されています。

▽仮庁舎の配置△

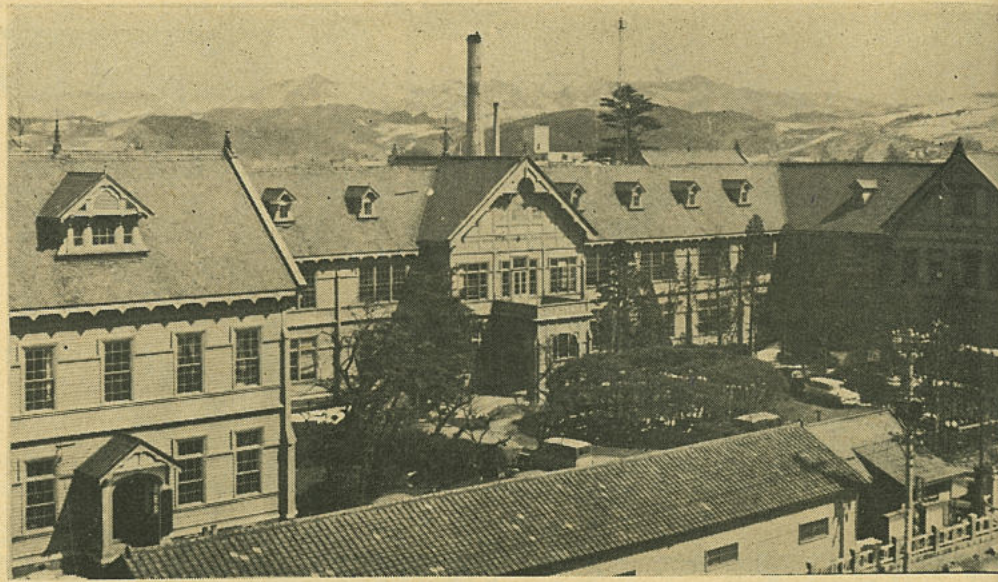
ところで、新しい庁舎ができるまでのあいだ、次の各仮庁舎でそれぞれ執務することになっていきます。

▽本庁第一庁舎（旧盛商校舎）
知事・副知事・出納長各室
総務部〓秘書広報（県民室）・人事・文書・財政・税務・地方・統計の各課
厚生部〓社会・公衆衛生・医薬・児童婦人・消防の各課
出納局〓管理・出納の各課

▽本庁第二庁舎（旧盛岡一高校舎）
農務部〓農林企画室・農政・農産・蚕糸・園芸特産・畜産の各課
農地林務部〓農地開拓・耕地・開墾建設・林政・林業・林産の各課
土木部〓総務・道路・都市計画・河港・砂防・建築の各課
工営局

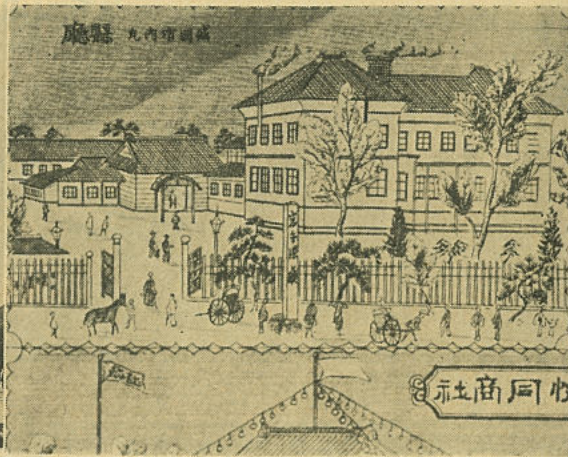
▽本庁第一分庁舎（旧盛岡県税）〓厚生部保険課
▽本庁第二分庁舎（医療局二階）〓厚生部国民年金課・監査事務局
▽工業指導所第一区（同二階）
經濟部〓商工観光・漁政・漁港・鉱産・労政の各課と計量検定所

▽本庁第十分庁舎（県商工館）と本庁第十一分庁舎（旧市役所）〓県警本部
▽仮庁舎への移転△
▽総務部・厚生部・出納局〓10月1日〜8日
▽土木部〓9日〜11日
▽農地林務部〓12日〜16日午前
▽農務部〓16日午後〜18日
▽經濟部〓19日
▽県警本部〓20日・21日午前



〔現庁舎の全景〕

〔現庁舎の前の初代県庁〕



〔新庁舎の完成模型図〕

